

<b>Let's Start</b>	1 いつも「たいせつ」／言葉の準備運動 2 アルファベット	題材	アルファベットなど
		教科書ページ	p.10-p.13
単元目標 【Goal】	6年生の学習の準備をする。	配当時間	1時間
		学習時期	4月
言語材料	これまで学習した語句や表現 語句 Let's Start 2 アルファベット apple, ant, banana, bear, cat, cake, dog, desk, egg, elephant, fish, five, gorilla, girl, hat, hamburger, ink, iguana, jump, jam, king, koala, lemon, lion, milk, monkey, notebook, nine, octopus, omelet, pencil, pig, queen, quiz, rabbit, rainbow, soccer, snake, tiger, taxi, umbrella, up, volleyball, violin, watch, watermelon, box, fox, yacht, yo-yo, zoo, zebra		

評価規準（例） 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》アルファベットの読み方について理解している。 《技能》アルファベットの読み方を聞き取る技能を身につけている。
読むこと	《知識》アルファベットの読み方について理解している。 《技能》アルファベットの読み方を発音する技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.10 -p.11	<p><b>Let's Start 1 いつも「たいせつ」／言葉の準備運動</b> コミュニケーションで大切なことを考える。</p> <p>◆いつも「たいせつ」 「表情・アイコンタクト・はっきりとした声・相手の言葉への反応」が、どうしてコミュニケーションで大切なのかを、自分の経験などを振り返って考え、話し合う。</p> <p>◆Warm Up [言葉の準備運動] さまざまな場面を想定して、See you.という言葉気持ちをこめて言うことで、同じ言葉でもいろいろな気持ちを伝えることができることに気づく。</p> <p>・気づきを生かそう【活動の振り返り】 いつも「たいせつ」と言葉の準備運動の活動を振り返り、気づいたことを話し合う。また、これからの学習に生かしたいことを書く。</p>	
	p.12 -p.13	<p><b>OLet's Start 2 アルファベット</b> アルファベットの読み方、音、文字を確認する。</p> <p>・音声に合わせて、アルファベットジングルを言う。</p> <p>・アルファベットの読み方が発音されるのを聞いて、それに合う文字をキーボードから探し、できた単語を教科書の表から見つける。</p> <p>・グループになり、教科書の表から単語を選んで、アルファベットの読み方を発音して、どの単語かを当てるゲームを行う。</p>	<p><b>OLet's Start 2</b> [聞く]《知識》アルファベットの読み方について理解している。／《技能》アルファベットの読み方を聞き取る技能を身につけている。</p> <p>[読む]《知識》アルファベットの読み方について理解している。／《技能》アルファベットの読み方を発音する技能を身につけている。</p>

<b>Unit 1</b>	<b>This is me.</b>	題材	自己紹介・得意なこと
		教科書ページ	p.14-p.21 p.100
単元目標 【Goal】	自分の興味・関心を伝えるために、内容を整理して自己紹介をすることができる。 [話す 発表] 内容を整理して、自己紹介をすることができる。	重点化領域	話すこと 発表
		配当時間	7時間
		学習時期	4月～5月
言語材料	表現【Step 1】 Where are you from? I'm from .... I live in .... 【Step 2】 I'm good at .... I'm interested in .... 語句 国、得意なことなど		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 挨拶をする How are you doing? (イ) 褒める Sounds great. (エ) 賛成する Yes, let's. Response 【Step 1】 One more hint, please. 【Step 2】 Wow! Really?		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

話すこと 【発表】	《知識》Where are you from? I'm from .... I live in ....や I'm good at .... I'm interested in .... などの表現や関連語句を理解している。 《技能》出身国や住んでいる所、得意なことや興味のあることについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》自分の興味・関心を伝えるために、内容を整理して、簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介をしている。 《態度》自分の興味・関心を伝えるために、内容を整理して、簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介をしようとしている。
--------------	--

Alphabet Time 1 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》得意なことを表す単語を理解している。 《技能》音声で十分に慣れ親しんだ得意なことを表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》アルファベット (p, b) の音と文字の関係や得意なことを表す単語を理解している。 《技能》アルファベット (p, b) を4線の上に書いたり、得意なことを表す単語を書き写す技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】世界の国の名前を知り方を教える。			
1	p.14 -p.15	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【How Do You Do?】 ◆Small Talk 【Let's have a party.】 ◆Story 【(場面) 日本に留学中の大学生たちが、教室にやって来る。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 説明を聞いて、答えとなる国旗を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】出身国や住んでいる所を伝える。			
2	p.16 -p.17	出身国や住んでいる所を伝える言い方を知り。 ◆Let's sing. 【How Do You Do?】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・Picture Dictionary (p.2) で語彙を導入する。 外国の人たちのインタビューから、出身国と住んでいる所を聞き取る。 ◆Let's chant. 【I'm from the U.S.】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Who am I?】 ◆p.17の脚注 p, bの音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】 出身国や住んでいる所を伝える。			
3	p.16 -p.17	<b>出身国や住んでいる所を伝える。</b> <b>◆Let's chant. 【I'm from the U.S.】</b> <b>○Let's try.</b> 好きな人物やキャラクターになったつもりで、グループで Who am I?クイズを出し合う。 <b>【Plus One】</b> グループ内で出し合ったクイズを、クラス全体に紹介する。 <b>◆Let's write and read.</b> 自分が住んでいる所を伝える文を書いて、声に出して読む。 <b>◆p.17の脚注 p, bの音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す 発表]《知識》I'm from .... I live in .... などの表現や関連語句を理解している。 /《技能》出身国や住んでいる所について話す技能を身につけている。
【Step 2】 得意なことや興味のあることを伝え合う。			
4	p.18 -p.19	<b>得意なことや興味のあることを伝える言い方を知る。</b> <b>◆Let's chant. 【I'm from the U.S.】</b> <b>◆Let's watch.</b> アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。 <b>◆Let's listen.</b> ・ Picture Dictionary (p.3) で語彙を導入する。 ・ 留学生の自己紹介から、得意なことや興味のあることを聞き取る。 <b>◆Let's chant. 【I'm good at running.】</b> チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。 <b>◆Small Talk 【What subjects do you like?】</b> <b>◆p.19の脚注 p, bの音と文字</b>	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
5		<b>得意なことや興味のあることを伝え合う。</b> <b>◆Let's chant. 【I'm good at running.】</b> <b>○Let's try.</b> 5人の友達と、得意なことや興味のあることを伝え合う。 <b>【Plus One】</b> 会話を続けて、友達のことをもっと詳しく知る。 <b>◆Let's write and read.</b> 自分が得意なことや興味のあることを伝える文を書き、声に出して読む。 <b>◆p.19の脚注 p, bの音と文字</b>	
【Jump!】 自分の興味・関心を伝えるために、内容を整理して自己紹介をする。			
6		<b>世界の友達の自己紹介を聞き、どんな自己紹介をするか考える。</b> <b>◆Let's chant. 【I'm from the U.S.】 / 【I'm good at running.】</b> <b>◆Let's watch and think.</b> ・ 世界の友達の自己紹介から、得意なことや興味のあることを聞き取る。 ・ 世界の友達からの質問を確認する。 <b>◆Let's speak.</b> ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 世界の友達の誰に向けて自己紹介するかを考える。 <b>◆Alphabet Time 1 (p.100) Sounds and Letters</b> p, bの文字から始まる単語を聞いてその単語の絵を選んだり、聞き取った単語の初めの文字を書いてその単語を読んだりする。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
7	p.20 -p.21	<b>自分の興味・関心を伝えるために、内容を整理して自己紹介をする。</b> <b>◆Let's chant. 【I'm from the U.S.】 / 【I'm good at running.】</b> <b>○Let's speak.</b> ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ 自己紹介で伝えたい内容や話す順番をメモする。 ・ 世界の友達に向けて、自分の得意なことや興味のあることなどを伝えて、自己紹介をする。 <b>◆Alphabet Time 1 (p.100) Fun with Alphabet</b> 得意なことなどを表す単語を判別し、4線上に書き写す。 <b>◆All About Me</b> 巻末の All About Me の Unit 1 に自分のことを書き入れる。 <b>◆振り返り</b> 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	

<b>Unit 2</b>	<b>Welcome to Japan.</b>	題材	日本の行事
		教科書ページ	p.22-p.29 p.101
単元目標 【Goal】	外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事を紹介することができる。 [聞く] 季節ごとの行事やできることを聞き取ることができる。 [話す 発表] 日本の行事やできることを紹介することができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと 発表
		配当時間	7時間
		学習時期	5月～6月
言語材料	<b>表現</b> 【Step 1】 What season do you like? I like .... In (季節), we have .... 【Step 2】 You can see / eat / visit / enjoy .... <b>語句</b> 季節、月・日にち、季節の行事		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (イ) 礼を言う Thank you for your presentation. (ウ) 発表する In spring, we have <i>hanami</i> . You can see .... (オ) 質問する What do you think? <b>Response</b> 【Step 1】 Oh, you like spring. 【Step 2】 Interesting!		

評価規準(例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》 In (季節), we have ....や You can see / eat / visit / enjoy ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 季節ごとの行事や日本でできることについて聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》 音声ガイドから、季節ごとの行事やそのときにできることを聞き取っている。 《態度》 音声ガイドから、季節ごとの行事やそのときにできることを聞き取ろうとしている。
話すこと 【発表】	《知識》 In (季節), we have ....や You can see / eat / visit / enjoy ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 好きな季節の行事や日本でできることについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》 外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事やできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。 《態度》 外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事やできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介しようとしている。

Alphabet Time 2 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》 季節を表す単語を理解している。 《技能》 音声で十分に慣れ親しんだ季節を表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》 アルファベット (c, g) の音と文字の関係や季節を表す単語を理解している。 《技能》 アルファベット (c, g) を4線に書いたり、季節を表す単語を書き写す技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】 季節や行事の言い方を知る。			
1	p.22 -p.23	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Swimming, Swimming】 ◆Small Talk 【Let's talk about the events.】 ◆Story 【(場面) ニックたちがアーシャに日本の行事を紹介する。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 3ヒントクイズを聞いて、答えとなる行事の写真を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】 季節ごとの行事を伝える。			
2	p.24 -p.25	季節ごとの行事を伝える言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Swimming, Swimming】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ○Let's listen. ・Picture Dictionary (p.4-5) で語彙を導入する。 ・季節ごとの行事についての会話から、話題になった行事を聞き取る。 ◆Let's chant. 【In spring, we have Children's Day.】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What event do you like?】 ◆p.25の脚注 c, gの音と文字	○Let's listen. [聞く] 《知識》 In (季節), we have ....などの表現や関連語句を理解している。／ 《技能》 季節ごとの行事について聞き取る技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】 季節ごとの行事を伝える。			
3	p.24 -p.25	<b>季節ごとの行事を伝える。</b> <b>◆Let's chant. 【In spring, we have Children's Day.】</b> <b>○Let's try.</b> 好きな季節と行事を伝え合い、クラスでいちばん人気がある季節と行事を知る。 <b>【Plus One】</b> 友達の発言に答えて、会話を続ける。 <b>◆Let's write and read.</b> 自分が好きな季節の行事を伝える文を書き、声に出して読む。 <b>◆p.25の脚注 c, g の音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す 発表]《知識》In(季節), we have .... などの表現や関連語句を理解している。 /《技能》好きな季節の行事について話す技能を身につけている。
【Step 2】 日本でできることを伝える。			
4	p.26 -p.27	<b>日本でできることを伝える言い方を知る。</b> <b>◆Let's chant. 【In spring, we have Children's Day.】</b> <b>◆Let's watch.</b> アニメーションの一部を使って、Step 2 の表現を確認する。 <b>○Let's listen.</b> ・教科書にある語彙を導入する。 ・日本のことを紹介する音声ガイドから、説明に合った写真を選ぶ。 <b>◆Let's chant. 【In Japan, you can eat sushi.】</b> チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。 <b>◆Small Talk 【What can you eat in Japan?】</b> <b>◆p.27の脚注 c, g の音と文字</b>	<b>○Let's listen.</b> [聞く]《知識》You can see / eat / visit / enjoy ....などの表現や関連語句を理解している。 /《技能》日本の行事やそこでできることについて聞き取る技能を身につけている。
5		<b>日本でできることを伝える。</b> <b>◆Let's chant. 【In Japan, you can eat sushi.】</b> <b>○Let's try.</b> グループになって、日本でできることを紹介し合う。 <b>【Plus One】</b> グループ内でおもしろいと思ったことを1つ選び、クラス全体に紹介する。 <b>◆Let's write and read.</b> 自分が紹介したことを文に書き、声に出して読む。 <b>◆p.27の脚注 c, g の音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す 発表]《知識》You can see / eat / visit / enjoy ....などの表現や関連語句を理解している。 /《技能》日本でできることについて話す技能を身につけている。
【Jump!】 外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事を紹介する。			
6	p.28 -p.29	<b>音声ガイドから行事やできることを聞き取ったり、世界の友達の動画からその国でできることを聞き取ったりする。</b> <b>◆Let's chant.</b> 【In spring, we have Children's Day.】 / 【In Japan, you can eat sushi.】 <b>○Let's listen.</b> 音声ガイドから、紹介されている行事とそのときにできることを聞き取る。 <b>◆Let's watch and think.</b> 世界の友達の動画を視聴して、その国でできることを聞き取ったり、自分の発表に役立つ表現を確かめたりする。 <b>◆Let's speak.</b> ・モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。 <b>◆Alphabet Time 2 (p.101) Sounds and Letters</b> c, g の文字から始まる単語を聞いてその単語の絵を選んだり、聞き取った単語の初めの文字を書いてその単語を読んだりする。	<b>○Let's listen.</b> [聞く]《思・判・表》音声ガイドから、季節ごとの行事やそのときにできることを聞き取っている。 /《態度》聞き取るうとしている。
7		<b>外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事を紹介する。</b> <b>◆Let's chant.</b> 【In spring, we have Children's Day.】 / 【In Japan, you can eat sushi.】 <b>○Let's speak.</b> ・話す内容のまとめりやつながりを考えて、発表のメモを作る。 ・ALT の先生に興味をもってもらえるように、日本の行事やそのときにできることを紹介する。 <b>◆Alphabet Time 2 (p.101) Fun with Alphabet</b> 季節を表す単語を判別し、4 線上に書く。 <b>◆All About Me</b> 巻末の All About Me の Unit 2 に自分のことを書き入れる。 <b>◆振り返り</b> 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	<b>○Let's speak.</b> [話す 発表]《知識》In(季節), we have .... や You can see / eat / visit / enjoy ....などの表現や関連語句を理解している。 /《技能》好きな季節の行事や日本でできることについて話す技能を身につけている。 /《思・判・表》外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事やできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。 /《態度》紹介しようとしている。

言葉について考えよう1	英語になった日本語 災害と英語／早口言葉	題材	言葉など
		教科書ページ	p.30-p.31
単元目標 【Goal】	英語になった日本語について考える。	配当時間	1時間
		学習時期	6月

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.30 -p.31	<p><b>英語になった日本語</b></p> <p>英語になった日本語があることを知り、言葉に対する興味を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の日本語のうち、どれが英語として通じるかを考え、3つ選んでアルファベットで書く。 てんぷら／お茶／ご飯／野球／じゅうどう／カラオケ</li> </ul> <p>◆Let's listen.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞いて、答えを確認する。</li> <li>・アルファベットで書いた3つの言葉が、そのまま英語として使われているのはなぜかを考え、話し合う。</li> </ul> <hr/> <p><b>災害と英語</b></p> <p>災害のときに、身近なものがどのように役に立つかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害で次のような困ったことが起こったとき、身近にあるもので何が役に立つかを考える。 ①暖房が使えず寒いのに、上に着る服がないとき。 ②水道が使えず、よごれた食器を洗うことができないとき。 ③水道が使えず、風呂に入れないとき。</li> </ul> <p>◆Let's listen.</p> <p>音声を聞いて、①～③のようなときに、次のうちの何が役に立つかを聞き取る。 newspapers／a wet towel／ a plastic bag</p> <hr/> <p><b>早口言葉</b></p> <p>英語の早口言葉を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の早口言葉を声に出して楽しむ。どれくらい早く言えるか挑戦する。 早口言葉— A big black bug bit a big black bear.</li> </ul>	<p>本時では、目標に向けた指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>

<b>Unit 3</b>	<b>What time do you get up?</b>	題材	1日の生活、お手伝い
		教科書ページ	p.32-p.39 p.102
単元目標 【Goal】	おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活についてたずね合うことができる。 [読む] ブログから1日の生活の様子を読み取ることができる。 [書く] 自分の1日の生活の様子を書くことができる。 [話す やり取り] 友達の文を読んで、内容についてたずね合うことができる。	重点化領域	読むこと 書くこと 話すこと やり取り
		配当時間	7時間
		学習時期	6月～7月
言語材料	<b>表現</b> 【Step 1】 What time do you ...? I ... at .... 【Step 2】 Do you help your family? I always / usually / sometimes / never .... <b>語句</b> いつ・どのくらい、1日の生活		
コミュニケーションに役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 繰り返す My daily schedule? (エ) 承諾する Sure. (オ) 許可を求める Can I ask you some questions? <b>Response</b> 【Step 1】 That's early. 【Step 2】 Great.		

評価規準(例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》What time do you ...? や I always / usually / sometimes / never ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》何時に何をやるかということや、家でしている手伝いについて伝える文を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》ブログから、登場人物の1日の生活の様子を読み取っている。／《態度》読み取ろうとしている。
書くこと	《知識》What time do you ...? や I always / usually / sometimes / never ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》何時に何をやるかということや、家でしている手伝いについて伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。 《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、自分の1日の生活の様子を、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。／《態度》書こうとしている。
話すこと 【やり取り】	《知識》What time do you ...? や I always / usually / sometimes / never ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》何時に何をやるかということや、家でしている手伝いについて伝え合う技能を身につけている。 《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活について簡単な語句や基本的な表現を用いてたずね合っている。／《態度》たずね合おうとしている。

Alphabet Time 3 ※単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》日課を表す語句を理解している。 《技能》音声で十分に慣れ親しんだ日課を表す語句を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》アルファベット (t, d) の音と文字の関係や日課を表す語句を理解している。 《技能》アルファベット (t, d) を4線上に書いたり、日課を表す語句を書き写す技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】1日の生活や手伝いの言い方を知る。			
1	p.32 -p.33	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【This Is the Way】 ◆Small Talk 【Let's be friends.】 ◆Story 【(場面) 将太がフィリピンの小学生とビデオ通話をする。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 説明を聞いて、内容と合う絵を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】何時にするかをたずね合う。			
2	p.34 -p.35	何時にするかをたずねる言い方を知る。 ◆Let's sing. 【This Is the Way】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen. 寿司職人との会話から、彼が何時に何をやるかを聞き取る。 ◆Let's chant. 【What time do you get up?】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What time do you get up?】 ◆p.35の脚注 t, dの音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】 何時にするかをたずね合う。			
3	p.34 -p.35	<b>何時にするかをたずね合う。</b> <b>◆Let's chant. 【What time do you get up?】</b> <b>○Let's try.</b> 起床、朝食、帰宅、入浴について、何時にするかをたずね合う。 <b>【Plus One】</b> 他のことについても、何時にするかをたずね合う。 <b>○Let's write and read.</b> 自分の生活について「何時に～する」という文を書き、声に出して読む。 <b>◆p.35の脚注 t, d の音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す やり取り]《知識》What time do you ...?やI ... at ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》何時に何をするかということ伝え合う技能を身につけている。 <b>○Let's write and read.</b> [書く／読む]《技能》何時に何をするかということ伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。／《技能》読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
【Step 2】 家でしている手伝いについてたずね合う。			
4	p.36 -p.37	<b>家でしている手伝いについて伝える言い方を知る。</b> <b>◆Let's chant. 【What time do you get up?】</b> <b>◆Let's watch.</b> アニメーションの一部を使って、Step 2 の表現を確認する。 <b>◆Let's listen.</b> ・ Picture Dictionary (p.8-9) で語彙を導入する。 ・ 会話から、それぞれの人物が家でどんな手伝いをしているかを聞き取る。 <b>◆Let's chant. 【I always cook dinner.】</b> チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。 <b>◆Small Talk 【Do you cook at home?】</b> <b>◆p.37の脚注 t, d の音と文字</b>	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
5	p.36 -p.37	<b>家でしている手伝いについてたずね合う。</b> <b>◆Let's chant. 【I always cook dinner.】</b> <b>○Let's try.</b> グループになって、家でしている手伝いについてたずね合う。 <b>【Plus One】</b> 各グループの「お手伝い名人」に選ばれた人が、家でしていることを発表する。 <b>○Let's write and read.</b> 自分が家でしている手伝いを伝える文を書き、声に出して読む。 <b>◆p.37の脚注 t, d の音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す やり取り]《知識》I always / usually / sometimes / never...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》家でしている手伝いについて伝え合う技能を身につけている。 <b>○Let's write and read.</b> [書く／読む]《技能》家でしている手伝いについて伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。／《技能》読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
【Jump!】 おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活についてたずね合う。			
6	p.38 -p.39	<b>将太のブログや世界の友達の動画から、1日の生活の様子を捉える。</b> <b>◆Let's chant. 【What time do you get up?】 / 【I always cook dinner.】</b> <b>○Let's read.</b> 将太のブログを読んで、内容に合う挿絵を選ぶ。 <b>◆Let's watch and think.</b> 世界の友達の動画を視聴して、1日の生活の様子を聞き取り、自分の生活と共通するところや違うところを探す。 <b>◆Let's write and speak.</b> ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ ふだんの自分の生活の様子を、友達に紹介する文を書く。 <b>◆Alphabet Time 3 (p.102) Sounds and Letters</b> t, d の文字から始まる単語を聞いてその単語の絵を選んだり、聞き取った単語の初めの文字を書いてその単語を読んだりする。	<b>○Let's read.</b> [読む]《思・判・表》ブログから、登場人物の1日の生活の様子を読み取っている。／《態度》読み取ろうとしている。
7		<b>おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活についてたずね合う。</b> <b>◆Let's chant. 【What time do you get up?】 / 【I always cook dinner.】</b> <b>○Let's write and speak.</b> ・ グループになって、おたがいが書いた文を読み合い、知りたいことをたずね合う。 <b>◆Alphabet Time 3 (p.102) Fun with Alphabet</b> 暗号を解いて、その暗号が示す日課を表す単語を4線上に書く。 <b>◆All About Me</b> 巻末の All About Me の Unit 3 に自分のことを書き入れる。 <b>◆振り返り</b> 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	<b>○Let's write and speak.</b> [書く]《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、自分の1日の生活の様子を、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。／《態度》書こうとしている。 [話す やり取り]《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活について簡単な語句や基本的な表現を用いてたずね合っている。／《態度》たずね合おうとしている。

まとめ	世界の友達 1 You can do it! 1	題材	モルディブ・アメリカ
		教科書ページ	p.40-p.43
単元目標 【Goal】	・世界の小学生のスピーチから、大まかな内容を聞き取っている。 ・Me on the Map を作って、日本の紹介をすることができる。 [聞く] 世界の友達のスピーチから、その国の様子などを聞き取ることができる。 [話す 発表] Me on the Map を作って日本の紹介をすることができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと 発表
		配当時間	3時間
		学習時期	7月
言語材料	表現 【5年 Unit 2】 I want ... for my birthday. 【5年 Unit 8】 We have .... 【Unit 1】 I'm good at .... 【Unit 2】 In ..., you can see .... 語句 これまでに学習した語句		
コミュニケーション に役立つフレーズ	機能表現 (オ) 誘う Let's be friends.		

評価規準(例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》 これまでに学習した I'm good at ....や We have ....や You can see ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 得意なこと、その国にあるものやその国でできることなどについて聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》 モルディブとアメリカの小学生のスピーチから、大まかな内容を聞き取っている。 《態度》 モルディブとアメリカの小学生のスピーチから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。
話すこと 【発表】	《知識》 これまでに学習した This is ....や I like .... I live in .... We have ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 自分のこと、学校のこと、地域のこと、日本のことなどについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》 世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。 《態度》 世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介しようとしている。

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.40 -p.41	<p><b>世界の小学生のスピーチから、大まかな内容を聞き取る。</b></p> <p><b>○Let's watch.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モルディブのスミさんのスピーチから、得意なことを聞き取る。</li> <li>・もう一度スピーチを聞き、もっと詳しく聞きたいことがあるか話し合う。</li> <li>・教科書の写真を見て、スミさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。</li> </ul> <p><b>○Let's watch.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカのジャスパーさんのスピーチから、アメリカで人気があるスポーツを2つ聞き取る。</li> <li>・もう一度スピーチを聞き、もっと詳しく聞きたいことがあるか話し合う。</li> <li>・教科書の写真を見て、ジャスパーさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。</li> </ul> <p><b>◆モルディブ／アメリカ</b> 教科書にある国の説明を読み、モルディブとアメリカについて理解を深める。</p>	<p><b>○Let's watch.</b></p> <p>[聞く]《知識》これまでに学習した I'm good at ....や We have ....や You can see ....などの表現や関連語句を理解している。／《技能》得意なこと、その国にあるものやその国でできることなどについて聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》モルディブとアメリカの小学生のスピーチから、大まかな内容を聞き取っている。／《態度》モルディブとアメリカの小学生のスピーチから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。</p>
2	p.42 -p.43	<p><b>世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作って、日本の紹介をする。</b></p> <p><b>◆Let's think. 1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードのモデル動画を視聴して発表のイメージをつかむ。世界の友達に向けて Me on the Map を作り、「地球に住むわたし」を紹介し「同じ地球に住むわたしたち」であることを伝える活動であることを理解する。</li> <li>・教科書の例とモデル動画を参考に、どのような内容を伝えているかを確認する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① This is me. (自分のこと)</li> <li>② This is my school. (学校のこと)</li> <li>③ This is my town. (自分が住む町のこと)</li> <li>④ This is my prefecture. (自分が住む都道府県のこと)</li> <li>⑤ This is my country. (自分が住む国のこと)</li> <li>⑥ This is our planet. (自分が住む地球のこと)</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループになって、世界の友達に向けてどんな内容を伝えるかを考える。</li> </ul> <p><b>◆Let's think. 2</b> 伝える内容を決め、絵や写真を貼って Me on the Map を作る。</p>	<p>本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p>
3	p.42 -p.43	<p><b>○You can do it!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル動画を再度視聴する。</li> <li>・ペアになって発表の練習をする。Me on the Map を見せながら、声の大きさやスピードを意識して、聞き手にわかりやすく発表できるようにする。</li> <li>・1人ずつ教室の前に出て発表する。聞き手は発表のよいところをメモする。それぞれの発表を録画しておく。</li> </ul> <p><b>◆感想を伝え合う</b> それぞれの Me on the Map の内容や発表の仕方について感想を伝え合う。適宜、録画した発表を再生して確認する</p> <p><b>◆振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の友達のスピーチから、その国の様子などを聞き取ることができたか、世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、日本の紹介をすることができたかを振り返り、自己評価をする。</li> <li>・世界の友達に知ってもらうための発表なので、録画した発表を海外の姉妹校などに送って交流することなどができるとよい。</li> </ul>	<p><b>○You can do it!</b></p> <p>[話す 発表]《知識》これまでに学習した This is ....や I like .... I live in .... We have ....などの表現や関連語句を理解している。／《技能》自分のこと、学校のこと、地域のこと、日本のことなどについて話す技能を身につけている。／《思・判・表》世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。／《態度》世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介しようとしている。</p>

<b>Unit 4</b>	<b>My Summer Vacation</b>	題材	夏休みの思い出
		教科書ページ	p.44-p.51 p.103
単元目標 【Goal】	夏休みの思い出を伝え合うために、絵日記を書くことができる。 【読む】 ブログから、夏休みの思い出を読み取ることができる。 【書く】 夏休みの思い出を伝える絵日記を書くことができる。 【話す 発表】 夏休みの思い出を発表することができる。	重点化領域	読むこと 書くこと 話すこと 発表
		配当時間	7時間
		学習時期	9月～10月
言語材料	<b>表現</b> 【Step 1】 What did you do in summer? I went to / ate / saw / enjoyed .... 【Step 2】 How was it? It was .... <b>語句</b> 動作など、町、自然、様子など、感想など		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 挨拶をする Welcome back. Good to see you all. (イ) 褒める Good job. (ウ) 報告する I didn't know that. (オ) 質問する Anything else? (オ) 命令する Hey, come on. <b>Response</b> 【Step 1】 Me, too. 【Step 2】 I see.		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》 What did you do in summer? I went to / ate / saw / enjoyed ....や How was it? It was .... などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 夏休みにしたことやその感想を伝える文を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》 ブログから、夏休みにしたことやその感想を読み取っている。／《態度》 読み取ろうとしている。
書くこと	《知識》 What did you do in summer? I went to / ate / saw / enjoyed ....や How was it? It was .... などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 夏休みにしたことやその感想を伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。 《思・判・表》 夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて絵日記に書いている。／書こうとしている。
話すこと 【発表】	《知識》 What did you do in summer? I went to / ate / saw / enjoyed ....や How was it? It was .... などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 夏休みにしたことやその感想について話す技能を身につけている。 《思・判・表》 夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。／《態度》 発表しようとしている。

Alphabet Time 4 ※単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》 自然を表す単語を理解している。 《技能》 音声で十分に慣れ親しんだ自然を表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》 アルファベット (s, z) の音と文字の関係や自然を表す単語を理解している。 《技能》 アルファベット (s, z) を4線上に書いたり、自然を表す単語を書き写す技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】 夏休みにしたことの違いを知る。			
1	p.44 -p.45	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【A Sailor Went to Sea】 ◆Small Talk 【Let's talk about our summer vacation.】 ◆Story 【(場面) 先生がみんなに夏休みの思い出をたずねる。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 3ヒントクイズを聞いて、答えとなる絵を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】 夏休みにしたことをたずね合う。			
2	p.46 -p.47	夏休みにしたことをたずね合う言い方を知る。 ◆Let's sing. 【A Sailor Went to Sea】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・Picture Dictionary (p.6, p.10-11) で語彙を導入する。 ・会話から、それぞれの人が行った場所としたことを聞き取る。 ◆Let's chant. 【I went to the mountains.】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What did you do yesterday?】 ◆p.47の脚注 s, z の音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】 夏休みにしたことをたずね合う。			
3	p.46 -p.47	<b>夏休みにしたことをたずね合う。</b> <b>◆Let's chant. 【I went to the mountains.】</b> <b>○Let's try.</b> 夏休みにしたことをたずね合い、自分と同じことをした人を見つける。 <b>【Plus One】</b> 同じことをした友達に質問をして、会話を続ける。 <b>○Let's write and read.</b> 自分が夏休みにしたことを伝える文を書き、声に出して読む。 <b>◆p.47の脚注 s, z の音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す 発表] 《知識》 What did you do in summer? や I went to / ate / saw / enjoyed ....などの表現や関連語句を理解している。／《技能》夏休みにしたことについて話す技能を身につけている。 <b>○Let's write and read.</b> [書く／読む] 《技能》夏休みにしたことを伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。／《技能》読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
【Step 2】 夏休みにしたことの感想をたずね合う。			
4	p.48 -p.49	<b>夏休みにしたことの感想をたずね合う言い方を知る。</b> <b>◆Let's chant. 【I went to the mountains.】</b> <b>◆Let's watch.</b> アニメーションの一部を使って、Step 2 の表現を確認する。 <b>◆Let's listen.</b> ・ Picture Dictionary (p.17) で語彙を導入する。 ・ インタビューから、先生たちが行った場所と感想を聞き取る。 <b>◆Let's chant. 【It was great.】</b> チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。 <b>◆Small Talk 【What did you do last Sunday?】</b> <b>◆p.49の脚注 s, z の音と文字</b>	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
5	p.48 -p.49	<b>夏休みにしたことの感想をたずね合う。</b> <b>◆Let's chant. 【It was great.】</b> <b>○Let's try.</b> ペアになって、テレビのリポーターがインタビューするように、夏休みにしたことの感想をたずね合う。 <b>【Plus One】</b> グループになって、できるだけインタビューを長く続ける。 <b>○Let's write and read.</b> 自分が夏休みにしたことの感想を伝える文を書き、声に出して読む。 <b>◆p.49の脚注 s, z の音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す 発表] 《知識》 What did you do in summer? I went to / ate / saw / enjoyed ....や How was it? It was ....などの表現や関連語句を理解している。／《技能》夏休みにしたことやその感想について話す技能を身につけている。 <b>○Let's write and read.</b> [書く／読む] 《技能》夏休みにしたことの感想を伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。／《技能》読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
【Jump!】 夏休みの思い出を伝え合うために、絵日記を書く。			
6	p.50 -p.51	<b>世界の友達の動画やブログから、夏休みにしたことや感想を捉える。</b> <b>◆Let's chant. 【I went to the mountains.】 / 【It was great.】</b> <b>◆Let's watch and think.</b> 世界の友達の動画を視聴して、夏休みの思い出を聞き取り、自分たちと同じところや違うところを見つける。 <b>○Let's read.</b> ブログを読んで、内容に合う写真を選び、誰が書いたブログかを当てる。 <b>◆Let's write and speak.</b> ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ 夏休みにしたことや感想を絵日記に書く。 <b>◆Alphabet Time 4 (p.103) Sounds and Letters</b> s, z の文字から始まる単語を聞いてその単語の絵を選んだり、聞き取った単語の初めの文字を書いてその単語を読んだりする。	<b>○Let's read.</b> [読む] 《思・判・表》 ブログから、夏休みにしたことやその感想を読み取っている。／《態度》読み取ろうとしている。
7		<b>夏休みの思い出を伝え合うために、絵日記を書き、発表する。</b> <b>◆Let's chant. 【I went to the mountains.】 / 【It was great.】</b> <b>○Let's write and speak.</b> ・ ペアで発表の練習をする。 ・ 順番に前に出て、絵日記を見せながら、夏休みにしたことや感想を詳しく発表する。 <b>◆Alphabet Time 4 (p.103) Fun with Alphabet</b> ゲームを通して分かった自然を表す単語を4線上に書く。 <b>◆All About Me</b> 巻末の All About Me の Unit 4 に自分のことを書き入れる。 <b>◆振り返り</b> 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	<b>○Let's write and speak.</b> [書く] 《思・判・表》 夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて絵日記に書いている。／《態度》書こうとしている。 [話す 発表] 《思・判・表》 夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。／《態度》発表しようとしている。

<b>Unit 5</b>	<b>We live together.</b>	題材	動物・環境
		教科書ページ	p.52-p.59 p.104
単元目標 【Goal】	動物の気持ちを伝えるために、ポスターを書くことができる。 【読む】ポスターから、動物の気持ちを読み取ることができる。 【書く】動物たちの気持ちを伝えるポスターを書くことができる。	重点化領域	読むこと 書くこと
		配当時間	7時間
		学習時期	10月～11月
言語材料	表現 【Step 1】 What do [pandas] eat? [Pandas] eat .... 【Step 2】 I live in / eat / have .... 語句 自然、生き物、体		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (イ) ためらいを示す Let me see. Response 【Step 1】 I think so, too. 【Step 2】 That's right.		

評価規準(例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》What do [pandas] eat? [Pandas] eat ....や I live in / eat / have ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》動物が食べるものや動物になったつもりで言うことを伝える文を、読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》ポスターから、動物の言っていることを読み取っている。 《態度》ポスターから、動物の言っていることを読み取ろうとしている。
書くこと	《知識》What do [pandas] eat? [Pandas] eat ....や I live in / eat / have ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》動物が食べるものや動物になったつもりで言うことを伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。 《思・判・表》動物の気持ちを伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、動物についてのポスターを書いている。 《態度》動物の気持ちを伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、動物についてのポスターを書こうとしている。

Alphabet Time 5 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》動物を表す単語を理解している。 《技能》音声で十分に慣れ親しんだ動物を表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》アルファベット (f, v) の音と文字の関係や動物を表す単語を理解している。 《技能》アルファベット (f, v) を4線に書いたり、文脈に合う動物を表す単語を書き写す技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】いろいろな動物の名前の言い方を知る。			
1	p.52 -p.53	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【The More We Get Together】 ◆Small Talk 【Let's think about animals.】 ◆Story 【(場面) 野生動物の図鑑を見ながらみんなが話し合う。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 3ヒントクイズを聞いて、答えとなる動物の写真を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】動物が食べるものを考えて伝え合う。			
2	p.54 -p.55	動物が食べるものを伝える言い方を知る。 ◆Let's sing. 【The More We Get Together】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.11-13) で語彙を導入する。 ・ 会話から、それぞれの動物が食べるものを聞き取り、A eat B.の文を作る。 ◆Let's chant. 【Eagles eat snakes.】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What do the animals eat?】 ◆p.55の脚注 f, v の音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】動物が食べるものを考えて伝え合う。			
3	p.54 -p.55	<p><b>動物が食べるものを考えて伝え合う。</b></p> <p>◆Let's chant. 【Eagles eat snakes.】</p> <p>◆Let's try. 写真を見て何が何を食べるかを考え、ペアで自分の考えを伝え合う。</p> <p>【Plus One】 owls, frogs, grasshoppers, grass の写真を見て、何が何を食べるかを矢印で書き、ペアでその内容を伝え合う。</p> <p>○Let's write and read. 好きな動物を選び、その動物が何を食べるかを伝える文を書き、声に出して読む。</p> <p>◆p.55の脚注 f, v の音と文字</p>	<p><b>○Let's write and read.</b></p> <p>[書く／読む]《知識》[Pandas] eat ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》動物が食べるものを伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。／《技能》読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。</p>
【Step 2】好きな動物を演じて Who am I?クイズをする。			
4	p.56 -p.57	<p><b>好きな動物を演じて Who am I?クイズをする言い方を知る。</b></p> <p>◆Let's chant. 【Eagles eat snakes.】</p> <p>◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.11-13) で語彙を導入する。 ・ Who am I?クイズから、誰がどの動物を演じているかを聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【I live in the forest.】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。</p> <p>◆Small Talk 【Who am I?】</p> <p>◆p.57の脚注 f, v の音と文字</p>	<p>本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p>
5		<p><b>好きな動物を演じて Who am I?クイズをする。</b></p> <p>◆Let's chant. 【I live in the forest.】</p> <p>◆Let's try. グループになり、好きな動物を演じて Who am I?クイズを出し合う。</p> <p>【Plus One】 グループで出し合ったクイズから1つ選んで、クラス全体に出題する。</p> <p>○Let's write and read. 自分が出したヒントの文を書き、声に出して読む。</p> <p>◆p.57の脚注 f, v の音と文字</p>	<p><b>○Let's write and read.</b></p> <p>[書く／読む]《技能》動物になったつもりで言うことを伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。／《技能》読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。</p>
【Jump!】動物の気持ちを伝えるために、ポスターを書く。			
6	p.58 -p.59	<p><b>ポスターを読んだり動画を視聴したりして、動物の気持ちを考える。</b></p> <p>◆Let's chant. 【Eagles eat snakes.】／【I live in the forest.】</p> <p>○Let's read. ポスターの文章から、どの動物が言っているかを読み取り、写真を選ぶ。</p> <p>◆Let's watch and think. 動画を視聴して、それぞれの動物の数が少なくなっている原因を知り、動物たちの気持ちを考える。</p> <p>◆Let's write. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。</p> <p>◆Alphabet Time 5 (p.104) Sounds and Letters f, v の文字から始まる単語を聞いてその単語の絵を選んだり、聞き取った単語の初めの文字を書いてその単語を読んだりする。</p>	<p><b>○Let's read.</b></p> <p>[読む]《思・判・表》ポスターから、動物の言っていることを読み取っている。／《態度》読み取ろうとしている。</p>
7		<p><b>動物の気持ちを伝えるために、ポスターを書いて読み合う。</b></p> <p>◆Let's chant. 【Eagles eat snakes.】／【I live in the forest.】</p> <p>○Let's write. ・ 教科書の例を参考に、好きな動物を選んで、動物の気持ちを伝えるポスターを書く。 ・ ポスターを友達と読み合って、感想を伝え合う。</p> <p>◆Alphabet Time 5 (p.104) Fun with Alphabet A eat B.の文に当てはまる動植物を表す単語 A, B をカードから選び4線上に書く。</p> <p>◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 5 に自分のことを書き入れる。</p> <p>◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。</p>	<p><b>○Let's write.</b></p> <p>[書く]《思・判・表》動物の気持ちを伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、動物についてのポスターを書いている。／《態度》書こうとしている。</p>

言葉について 考えよう2	文の組み立て	題材	言葉
		教科書ページ	p.60
単元目標 【Goal】	文の組み立てについて理解する。	配当時間	1時間
		学習時期	11月

時	ページ	主な活動内容	評価												
1	p.60	<p><b>文の組み立て</b>  同じ意味を表す文でも言語によって文の組み立てが違うことを知り、言葉に対する興味を深める。</p> <p>① <b>日本語と英語</b>  ・「自分は魚を食べる」という意味の文を、日本語と英語でカードを組み合わせて作ってみる。</p> <p>日本語    <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>わたし(は)</td></tr></table>    <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-style: dashed;"><tr><td>魚(を)</td></tr></table>    <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-style: dashed;"><tr><td>食べる</td></tr></table></p> <p>英語        <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>I</td></tr></table>        <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-style: dashed;"><tr><td>eat</td></tr></table>        <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-style: dashed;"><tr><td>fish</td></tr></table></p> <p>・日本語の文の組み立て方と英語の文の組み立て方について、気づいたことを話し合う。</p> <p>② <b>中国語・韓国語</b>  ・「自分は魚を食べる」という意味の文を、中国語・韓国語では、それぞれどのような語順で文に組み立てるかを確かめる。</p> <p>中国語     <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>我</td></tr></table>     <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-style: dashed;"><tr><td>吃</td></tr></table>     <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-style: dashed;"><tr><td>魚</td></tr></table></p> <p>韓国語     <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>ナヌン</td></tr></table>     <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-style: dashed;"><tr><td>センソヌウル</td></tr></table>     <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-style: dashed;"><tr><td>モンヌンダ</td></tr></table></p> <p>・日本語・英語・中国語・韓国語の文の組み立ての共通点や相違点について、気づいたことを話し合う。</p>	わたし(は)	魚(を)	食べる	I	eat	fish	我	吃	魚	ナヌン	センソヌウル	モンヌンダ	<p>本時では、目標に向けた指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
わたし(は)															
魚(を)															
食べる															
I															
eat															
fish															
我															
吃															
魚															
ナヌン															
センソヌウル															
モンヌンダ															

<b>Unit 6</b>	<b>I want to go to Italy.</b>	題材	行ってみたい国や地域
		教科書ページ	p.62-p.69 p.105
単元目標 【Goal】	世界の国々のみりょくを伝えるために、旅行会社の人になって紹介することができる。 【聞く】観光案内の音声から、国名やそこできちんことを聞き取ることができる。 【話す 発表】世界の国々のみりょくを伝えることができる。 【話す やり取り】行きたい国について話し合うことができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと 発表・やり取り やり取り
		配当時間	7時間
		学習時期	11月～12月
言語材料	表現 【Step 1】 In ～, you can ... 【Step 2】 Where do you want to go? I want to go to .... Why? I want to .... 語句 国、動作など		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 聞き直す Sorry? (イ) ためらいを示す Well, .... (イ) 褒める Wow, it's cool. (エ) 許可を求める May I ask you a question? (エ) 承諾する Yes, of course. Response 【Step 1】 Sorry? 【Step 2】 Why?		

評価規準（例） 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》In ～, you can ....や Where do you want to go? I want to go to ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》世界の国でできることや行きたい国とその理由について聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》観光案内の音声から、国名やその国でできることを聞き取っている。／《態度》聞き取ろうとしている。
話すこと 【発表】	《知識》In ～, you can ....や Where do you want to go? I want to go to ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》その国でできることについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》世界の国々の魅力を伝えるために、その国でできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。／《態度》紹介しようとしている。
話すこと 【やり取り】	《知識》In ～, you can ....や Where do you want to go? I want to go to ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》自分が行きたい国とその理由について伝え合う技能を身につけている。 《思・判・表》自分たちが行く国を決めるために、行きたい国とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。／《態度》伝え合おうとしている。

Alphabet Time 6 ※単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》I want to ....や You can see ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》音声で十分に慣れ親しんだ I want to .... や You can see .... などの表現や関連語句を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》アルファベット (m, n) の音と文字の関係や語と語の区切りを理解している。 《技能》アルファベット (m, n) を4線の上に書いたり、語と語の区切りに注意して語句を書き写す技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】世界の国やできることなどの言い方を知る。			
1	p.62 -p.63	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Lavender's Blue】 ◆Small Talk 【Let's talk about countries.】 ◆Story 【(場面) ミラー先生と世界の国々について話す。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 3ヒントクイズを聞いて、答えとなる国の写真を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】世界の国でできること伝える。			
2	p.64 -p.65	世界の国でできることを伝える言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Lavender's Blue】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ○Let's listen. ・Picture Dictionary (p.2, p.6-7) で語彙を導入する。 観光案内から、その国でできることとして紹介されているものを聞き取る。 ◆Let's chant. 【You can visit Rome.】 チャントを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What can you see in Japan?】	○Let's listen. 【聞く】《知識》In ～, you can ....などの表現や関連語句を理解している。／《技能》世界の国でできることについて聞き取る技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
		◆p.65の脚注 m, n の音と文字	
【Step 1】世界の国のできることを伝える。			
3	p.64 -p.65	<b>世界の国のできることを伝える。</b> ◆Let's chant. 【You can visit Rome.】 ○Let's try. 紹介したい国を2つ選び、それぞれの国のできることを調べて、ペアになってクイズを出し合う。 【Plus One】4人グループを作り、ペアに分かれてクイズを出し合う。 ◆Let's write and read. 紹介した国のできることを伝える文を書き、声に出して読む。 ◆p.65の脚注 m, n の音と文字	<b>○Let's try.</b> [話す 発表]《知識》In ~, you can ...などの表現や関連語句を理解している。／《知識》世界の国のできることに話ず技能を身につけている。 [話す やり取り]《知識》In ~, you can ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》自分が行きたい国とその理由について伝え合う技能を身につけている。
【Step 2】行きたい国とその理由をたずね合う。			
4	p.66 -p.67	<b>行きたい国とその理由をたずねる言い方を知る。</b> ◆Let's chant. 【You can visit Rome.】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。 ○Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.2, p.6-7) で語彙を導入する。 ・ 会話から、それぞれの行きたい国とその理由を聞き取る。 ◆Let's chant. 【Where do you want to go?】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Where do you want to go in Japan?】 ◆p.67の脚注 m, n の音と文字	<b>○Let's listen.</b> [聞く]《知識》Where do you want to go? I want to go to ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》行きたい国とその理由について聞き取る技能を身につけている。
5		<b>行きたい国とその理由をたずね合う。</b> ◆Let's chant. 【Where do you want to go?】 ○Let's try. 行きたい国とその理由をたずね合い、自分と同じ国に行きたい友達を探す。 【Plus One】会話を続けて、行きたい理由をもっと詳しく知る。 ◆Let's write and read. 自分が行きたい国を伝える文を書き、声に出して読む。 ◆p.67の脚注 m, n の音と文字	<b>○Let's try.</b> [話す 発表]《知識》Where do you want to go? I want to go to ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》世界の国のできることに話ず技能を身につけている。 [話す やり取り]《知識》Where do you want to go? I want to go to ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》自分が行きたい国とその理由について伝え合う技能を身につけている。
【Jump!】世界の国々の魅力を伝えるために、旅行会社の人になって紹介する。			
6	p.68 -p.69	<b>観光案内や世界の友達の動画から、いろいろな国のできることを聞き取る。</b> ◆Let's chant. 【You can visit Rome.】 / 【Where do you want to go?】 ○Let's listen. 観光案内から、紹介されている国とそこでできることを聞き取る。 ◆Let's watch and think. 世界の友達が自分の国の魅力を紹介する動画を視聴して、その国できることをメモし、自分が国を紹介するときの参考にする。 ◆Let's speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ 活動に必要な掲示物などを作る。 ◆Alphabet Time 6 (p.105) Sounds and Letters m, n の文字から始まる単語を聞いてその単語の絵を選んだり、聞き取った単語の初めの文字を書いてその単語を読んだりする。	<b>○Let's listen.</b> [聞く]《思・判・表》観光案内の音声から、国名やその国のできることを聞き取っている。／《態度》聞き取るうとしている。
7		<b>世界の国々の魅力を伝えるために、旅行会社の人になって紹介する。</b> ◆Let's chant. 【You can visit Rome.】 / 【Where do you want to go?】 ○Let's speak. ・ 旅行会社の人と客の役に分かれ、旅行会社の人を選んだ国の魅力を紹介し、客は順に回って話を聞く。 ・ 話を聞いた客は、どこの国へ行きたいかを話し合って1つに決める。 ◆Alphabet Time 6 (p.105) Fun with Alphabet 語と語の区切りに注意して単語を書き写し、文を完成させる。 ◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 6 に自分のことを書き入れる。 ◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	<b>○Let's speak.</b> [話す 発表]《思・判・表》世界の国々の魅力を伝えるために、その国のできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。／《態度》紹介しようとしている。 [話す やり取り]《思・判・表》自分たちが行く国を決めるために、行きたい国とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。／《態度》伝え合おうとしている。

まとめ	世界の友達 2 You can do it! 2	題材	タイ・チリ
		教科書ページ	p.70-p.73
単元目標 【Goal】	・世界の小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取ることができる。 ・司会者とゲストに分かれて、英語のトーク番組を行うことができる。 [聞く] 世界の友達のインタビューから、したことやしたいことを聞き取ることができる。 [話す やり取り] さいころを使って、英語のトーク番組にちょうせんすることができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと やり取り
		配当時間	3時間
		学習時期	12月
言語材料	表現 【Unit 2】 What season do you like? 【Unit 4】 What did you do ...? It was.... 【Unit 6】 Where do you want to go? I want to go to .... 語句 これまでに学習した語句		
コミュニケーション に役立つフレーズ	機能表現 (ア) 挨拶をする How are you? (イ) 驚きを表す How long!		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》 これまでに学習した Where do you want to go?や What season do you like?などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 過去にしたことやこれからしたいことなどについて聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》 タイとチリの小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取っている。 《態度》 タイとチリの小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。
話すこと 【やり取り】	《知識》 これまでに学習した Where do you want to go?や What season do you like?などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 あこがれの人、好きな季節、夏休みにしたこと、行きたい国などについて伝え合う技能を身につけている。 《思・判・表》 選ばれたテーマについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りをしている。 《態度》 選ばれたテーマについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りしようとしている。

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.70 -p.71	<p><b>世界の小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取る。</b></p> <p><b>○Let's watch.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイのタンさんのインタビューを聞いて、3つの質問に何と答えているかメモする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○What did you do last Sunday?</li> <li>○Can you play ice hockey?</li> <li>○Where do you want to go in Japan?</li> </ul> </li> <li>・教科書の写真を見て、タンさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。</li> </ul> <p><b>○Let's watch.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チリのアッシュさんのインタビューを聞いて、教科書にある3つの質問に何と答えているかメモする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>What season do you like?</li> <li>What did you do last Sunday?</li> <li>What do you want to do in summer?</li> </ul> </li> <li>・教科書の写真を見て、アッシュさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。</li> </ul> <p><b>◆タイ/チリ</b></p> <p>教科書にある国の説明を読み、タイとチリについて理解を深める。</p>	<p><b>○Let's watch.</b></p> <p>[聞く]《知識》これまでに学習した Where do you want to go? や What season do you like? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》過去にしたことやこれからしたいことなどについて聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》タイとチリの小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取っている。／《態度》タイとチリの小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。</p>
2	p.72 -p.73	<p><b>司会者とゲストに分かれて、英語のトーク番組を行う。</b></p> <p><b>◆Let's think. 1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①トーク番組の準備をする</li> <li>・モデル動画を視聴し、さいころを使った英語のトーク番組で司会者かゲストを演じることを理解する。</li> <li>・さいころの目に割り当てる質問の内容を決め、ワークシートにまとめる。</li> <li>②リハーサルをする</li> <li>・グループになって、質問のしかたや答え方を確かめ合う。</li> <li>・役割を決めて、トークができるかどうかリハーサルをする。</li> </ul> <p><b>◆Let's think. 2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルをふまえて、もっと会話を続けたり盛り上げたりするにはどうしたらいいかを話し合い、会話を続けるための表現を確認する。</li> </ul> <p>相手の言葉を繰り返す: Oh, you like cats. 聞き直す: Excuse me? Sorry? 会話を広げる Anything else? Why? What do you want to do there?</p>	<p>本時では、目標に向けた指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
3		<p><b>○You can do it!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル動画を再度視聴する。</li> <li>・グループごとに、トーク番組の司会者役とゲスト役に分かれて演じる。ゲストがさいころを振り、司会者は出た目の質問をゲストにたずねる。</li> </ul> <p><b>◆感想を伝え合う</b></p> <p>各グループのトーク番組について、よかったところなど感想を伝え合う。</p> <p><b>◆振り返り</b></p> <p>世界の友達のインタビューから、したことやしたいことを聞き取ることができたか、英語のトーク番組を設定し、司会者とゲストに分かれて会話を続けることができたかを振り返り、自己評価をする。</p>	<p><b>○You can do it!</b></p> <p>[話す やり取り]《知識》これまでに学習した Where do you want to go? や What season do you like? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》あこがれの人、好きな季節、夏休みにしたこと、行きたい国などについて伝え合う技能を身につけている。／《思・判・表》選ばれたテーマについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りをしている。／《態度》選ばれたテーマについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りしようとしている。</p>

<b>Unit 7</b>	<b>My Dream</b>	題材	中学校生活・将来の夢
		教科書ページ	p.74-p.81 p.106
単元目標 【Goal】	自分の将来について考えるために、「夢宣言」をすることができる。 [読む] 「夢宣言」から、したいことなどを読み取ることができる。 [書く] 中学校生活の「夢宣言」を書くことができる。 [話す 発表] 中学校生活の「夢宣言」をくわしく発表することができる。	重点化領域	読むこと 書くこと 話すこと 発表
		配当時間	7時間
		学習時期	1月～2月
		言語材料	表現 【Step 1】 What club do you want to join? I want to join .... 【Step 2】 What do you want to be? I want to be .... 語句 動作など、部活動、教科、職業
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 挨拶をする Hi, everyone. Hi, guys. (ア) 挨拶をする See you. (イ) 励ます Good luck. (イ) 安心させる No problem, Nick. Response 【Step 1】 Me, too. 【Step 2】 Good luck!		

評価規準(例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》What club do you want to join? や What do you want to be? などの表現や関連語句を理解している。 《技能》中学校でしたいことや将来つきたい職業を伝える文を、読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》「夢宣言」から、その人物のしたいことなどを読み取っている。／《態度》読み取ろうとしている。
書くこと	《知識》What club do you want to join? や What do you want to be? などの表現や関連語句を理解している。 《技能》中学校でしたいことや将来つきたい職業を伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。 《思・判・表》自分の将来について考えるために、中学校生活の「夢宣言」を、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。／《態度》書こうとしている。
話すこと 【発表】	《知識》What club do you want to join? や What do you want to be? などの表現や関連語句を理解している。 《技能》中学校でしたいことや将来つきたい職業とその理由などについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》自分の将来について考えるために、中学校生活の「夢宣言」を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。／《態度》発表しようとしている。

Alphabet Time 7 ※単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》I want to be ....の表現や関連語句を理解している。 《技能》音声で十分に慣れ親しんだI want to be ....の表現や関連語句を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》アルファベット (l, r) の音と文字の関係やI want to ....の文の語順を理解している。 《技能》アルファベット (l, r) を4線の上に書いたり、語順に注意して文を書き写したりする技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】中学校の部活動や職業の言い方を知る。			
1	p.74 -p.75	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【I Think You're Wonderful】 ◆Small Talk 【Let's think about our future.】 ◆Story 【(場面) ニックたちが、中学校を見学しに来る。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. クイズを聞いて、答えとなる絵を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】入りたい部活動などを伝え合う。			
2	p.76 -p.77	入りたい部活動などを伝える言い方を知る。 ◆Let's sing. 【I Think You're Wonderful】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.14) で語彙を導入する。 ・ 会話から、中学校で入りたい部活動とがんばりたい教科を聞き取る。 ◆Let's chant. 【I want to join the drama club.】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What do you want to do next Sunday?】 ◆p.77の脚注 l, r の音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】 入りたい部活動などを伝え合う。			
3	p.76 -p.77	<p><b>入りたい部活動などを伝え合う。</b></p> <p>◆Let's chant. 【I want to join the drama club.】</p> <p>○Let's try. 中学校で入りたい部活動やがんばりたい教科などをたずね合う。</p> <p>【Plus One】 会話を続けて、おたがいの考えをもっと知る。</p> <p>○Let's write and read. 中学校でしたいことを伝える文を書き、声に出して読む。</p> <p>◆p.77の脚注 l, r の音と文字</p>	<p>○Let's try. [話す 発表] 《知識》 What club do you want to join? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》 中学校でしたいことについて話す技能を身につけている。</p> <p>○Let's write and read. [書く／読む] 《技能》 中学校でしたいことを伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。／《技能》 読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。</p>
【Step 2】 つきたい職業とその理由を伝える。			
4	p.78 -p.79	<p><b>つきたい職業とその理由を伝える言い方を知る。</b></p> <p>◆Let's chant. 【I want to join the drama club.】</p> <p>◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2 の表現を確認する。</p> <p>◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.15) で語彙を導入する。 ・ 世界の友達の話から、それぞれがつきたい職業とその理由を聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【What do you want to be?】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。</p> <p>◆Small Talk 【What do you want to be?】</p> <p>◆p.79の脚注 l, r の音と文字</p>	<p>本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p>
5		<p><b>つきたい職業とその理由を伝える。</b></p> <p>◆Let's chant. 【What do you want to be?】</p> <p>○Let's try. 将来の夢をたずね合い、同じ職業につきたい友達を探す。</p> <p>【Plus One】 会話を続けて、おたがいの考えをもっと知る。</p> <p>○Let's write and read. 将来の夢を伝える文を書き、声に出して読む。</p> <p>◆p.79の脚注 l, r の音と文字</p>	
【Jump!】 自分の将来について考えるために、「夢宣言」をする。			
6	p.80 -p.81	<p><b>登場人物の「夢宣言」を読んだり、中学校生活を紹介する動画を見たりして、自分の「夢宣言」の考えをまとめる。</b></p> <p>◆Let's chant. 【I want to join the drama club.】／【What do you want to be?】</p> <p>○Let's read. 登場人物の「夢宣言」から、入りたい部活動やつきたい職業を読み取る。</p> <p>◆Let's watch and think. 中学生が学校生活を紹介する動画を視聴して、中学校生活のイメージをふくらませ、自分の「夢宣言」の考えをまとめる。</p> <p>◆Let's write and speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 教科書を見直すなどして、「夢宣言」に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ 「夢宣言」を書く。</p> <p>◆Alphabet Time 7 (p.106) Sounds and Letters l, r の文字から始まる単語を聞いてその単語の絵を選んだり、聞き取った単語の初めの文字を書いてその単語を読んだりする。</p>	<p>○Let's read. [読む] 《思・判・表》「夢宣言」から、その人物のしたいことなどを読み取っている。／《態度》読み取るようとしている。</p>
7		<p><b>自分の将来について考えるために、「夢宣言」をする。</b></p> <p>◆Let's chant. 【I want to join the drama club.】／【What do you want to be?】</p> <p>○Let's write and speak. ・ 「夢宣言」で書いた事柄について、詳しい発表をする。</p> <p>◆Alphabet Time 7 (p.106) Fun with Alphabet 語順に注意して、単語を並べかえて文を作る。</p> <p>◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 7 に自分のことを書き入れる。</p> <p>◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。</p>	<p>○Let's write and speak. [書く] 《思・判・表》自分の将来について考えるために、中学校生活の「夢宣言」を、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。／《態度》書こうとしている。 [話す 発表] 《思・判・表》自分の将来について考えるために、中学校生活の「夢宣言」を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。／《態度》発表しようとしている。</p>

言葉について 考えよう3	相手の心に届くスピーチ	題材	言葉
		教科書ページ	p.82
単元目標 【Goal】	相手の心に届くスピーチについて考える。	配当時間	1時間
		学習時期	2月

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.82	<p><b>相手の心に届くスピーチ</b>  <b>同じテーマのスピーチを聞き比べ、相手の心に届くスピーチについて考える。</b></p> <p>① スピーチを見比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人が行っている“I like sushi.”という同じテーマのスピーチを見比べる。</li> <li>・どちらのスピーチから、発表者の考えや気持ちが分かりやすく伝わってきたかを考え、その理由を話し合う。</li> </ul> <p>② 相手の心に届くスピーチについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「相手の心に届くスピーチ」の条件について、グループで話し合う。</li> </ul> <p>伝える情報を整理すると分かりやすい。  意見の理由をいくつか挙げると、説得力が増す。  ジェスチャーや表情が大切。  写真を示すときはLook at this.とはっきり示す。  聞き手に問いかけるのも効果的。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いを踏まえて、これからスピーチで心がけたいと思うことを発表する。</li> </ul>	<p>本時では、目標に向けた指導は行おうが、記録に残す評価は行わない。</p>

<b>Unit 8</b>	<b>My Best Memory</b>	題材	小学校生活の思い出・行事
		教科書ページ	p.84-p.91 p.107
単元目標 【Goal】	思い出を共有するために、学校行事の出来事や感想を発表することができる。 [聞く] スピーチから、学校行事の思い出を聞き取ることができる。 [話す 発表] 学校行事の思い出を発表することができる。 [話す やり取り] スピーチを聞いて、質問したり、感想を伝えたりすることができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと 発表・やり取り
		配当時間	7時間
		学習時期	2月～3月
		言語材料	表現【Step 1】 What's your best memory? My best memory is .... 【Step 2】 We went to / saw / played .... It was .... 語句 動作など、学校行事、様子など、感想など
コミュニケーションに役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (イ) 驚きを表す That's a surprise. (イ) 褒める Oh, great.		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》 My best memory is ....や We went to / saw / played ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことなどについて聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》 2つのスピーチから、学校行事の思い出を聞き取り、誰のスピーチかを考えている。 《態度》 2つのスピーチから、学校行事の思い出を聞き取り、誰のスピーチかを考えようとしている。
話すこと 【発表】	《知識》 My best memory is ....や We went to / saw / played ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことなどについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》 思い出を共有するために、学校行事の思い出を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。 《態度》 思い出を共有するために、学校行事の思い出を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表しようとしている。
話すこと 【やり取り】	《知識》 My best memory is ....や We went to / saw / played ....などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことなどについて伝え合う技能を身につけている。 《思・判・表》 思い出を共有するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達に質問したり感想を伝えたりしている。 《態度》 思い出を共有するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達に質問したり感想を伝えようとしている。

Alphabet Time 8 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》 My best memory is .... の表現や関連語句を理解している。 《技能》 音声で十分に慣れ親しんだ My best memory is .... の表現や関連語句を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》 アルファベット (ch, sh) の音と文字の関係や語と語の区切りについて理解している。 《技能》 アルファベット (ch, sh) を4線上に書いたり、語と語の区切りに注意して文を書き写したりする技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】 学校行事の言い方を知る。			
1	p.84 -p.85	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Make New Friends】 ◆Small Talk 【Let's talk about our memories.】 ◆Story 【(場面) ニックたちが、小学校の思い出について話す。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. クイズを聞いて、答えとなる学校行事の絵を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】 思い出に残った学校行事を伝え合う。			
2	p.86 -p.87	思い出に残った学校行事を伝える言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Make New Friends】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ○Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.16) で語彙を導入する。 会話から、それぞれの思い出の学校行事を聞き取る。 ◆Let's chant. 【What's your best memory?】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。	○Let's listen. [聞く] 《知識》 My best memory is ....などの表現や関連語句を理解している。 / 《技能》 思い出に残った学校行事について聞き取る技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
		<b>◆Small Talk 【What event do you like?】</b> <b>◆p.87 の脚注 ch, sh の音と文字</b>	
【Step 1】思い出に残った学校行事を伝え合う。			
3	p.86 -p.87	<b>思い出に残った学校行事を伝え合う。</b> <b>◆Let's chant. 【What's your best memory?】</b> <b>○Let's try.</b> 10人の友達にいちばん思い出に残った学校行事をたずねる。 <b>【Plus One】</b> 友達にたずねたことをもとに、「思い出の行事トップ5」を予想して発表する。 <b>◆Let's write and read.</b> いちばん思い出に残った学校行事を伝える文を書き、声に出して読む。 <b>◆p.87 の脚注 ch, sh の音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す 発表]《知識》My best memory is .... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》思い出に残った学校行事について話す技能を身につけている。 [話す やり取り]《知識》My best memory is .... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》思い出に残った学校行事について伝え合う技能を身につけている。
【Step 2】学校行事で行った場所や、したことなどを伝える。			
4		<b>学校行事で行った場所や、したことなどを伝える言い方を知る。</b> <b>◆Let's chant. 【What's your best memory?】</b> <b>◆Let's watch.</b> アニメーションの一部を使って、Step 2 の表現を確認する。 <b>○Let's listen.</b> ・ Picture Dictionary (p.6, p.16-17) で語彙を導入する。 ・ 学校行事の発表から、それぞれがしたことなどを聞き取る。 <b>◆Small Talk 【What did you do last year?】</b> <b>◆p.89 の脚注 ch, sh の音と文字</b>	<b>○Let's listen.</b> [聞く]《知識》We went to / saw / played .... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》学校行事で行った場所や、したことなどについて聞き取る技能を身につけている。
5	p.88 -p.89	<b>学校行事で行った場所や、したことなどを伝える。</b> <b>◆Let's chant. 【What's your best memory?】</b> <b>○Let's try.</b> 思い出に残った学校行事で、行った場所やしたことなどを友達に伝える。 <b>【Plus One】</b> 友達の話聞いて、もっと知りたいことをたずねる。 <b>◆Let's write and read.</b> 思い出に残った行事でしたことを伝える文を書き、声に出して読む。 <b>◆p.89 の脚注 ch, sh の音と文字</b>	<b>○Let's try.</b> [話す 発表]《知識》My best memory is .... や We went to / saw / played .... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》思い出の行事で行った場所やしたことなどについて話す技能を身につけている。 [話す やり取り]《知識》My best memory is .... や We went to / saw / played .... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》学校行事で行った場所やしたことなどについて伝え合う技能を身につけている。
【Jump!】思い出を共有するために、学校行事の出来事や感想を発表する。			
6		<b>登場人物のスピーチや世界の友達の動画から、学校行事の思い出を聞き取る。</b> <b>◆Let's chant. 【What's your best memory?】</b> <b>○Let's listen.</b> スピーチの音声から、学校行事、したこと、感想を聞き取り、誰のスピーチ内容を当てる。 <b>◆Let's watch and think.</b> 世界の友達の動画から、学校行事の思い出を聞き取り、自分の発表の参考にする。 <b>◆Let's speak.</b> ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 教科書を見直すなどして、発表に使える表現を探し、全体で共有する。 <b>◆Alphabet Time 8 (p.107) Sounds and Letters</b> ch, sh の文字から始まる単語を聞いてその単語の絵を選んだり、聞き取った単語の初めの文字を書いてその単語を読んだりする。	<b>○Let's listen.</b> [聞く]《思・判・表》2つのスピーチから、学校行事の思い出を聞き取り、誰のスピーチかを考えている。／《態度》考えようとしている。
7	p.90 -p.91	<b>思い出を共有するために、学校行事の出来事や感想を発表する。</b> <b>◆Let's chant. 【What's your best memory?】</b> <b>○Let's speak.</b> ・ 小学校生活のいちばんの思い出としてどんなことを発表するか考え、ペアで練習する。 ・ 順番に教室の前に出て発表する。聞いている人は質問をしたり感想を述べたりする。 <b>◆Alphabet Time 8 (p.107) Fun with Alphabet</b> 語と語の区切りに注意して、迷路をたどって文を作る。 <b>◆All About Me</b> 巻末の All About Me の Unit 8 に自分のことを書き入れる。 <b>◆振り返り</b> 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	<b>○Let's speak.</b> [話す 発表]《思・判・表》思い出を共有するために、学校行事の思い出を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。／《態度》発表しようとしている。 [話す やり取り]《思・判・表》思い出を共有するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達に質問したり感想を伝えたりしている。／《態度》伝えようとしている。

まとめ	世界の友達 3 You can do it! 3	題材	韓国・ドイツ
		教科書ページ	p.92-p.95
単元目標 【Goal】	・世界の小学生の絵はがきから、大まかな内容を読み取ることができる。 ・English Festival を開き、いろいろな催し物や発表を楽しむことができる。 [読む] 世界の友達の絵はがきから、したいことなどを読み取ることができる。 [話す 発表] もよおし物や発表のきかくを立てて、English Festival を開くことができる。	重点化領域	読むこと 話すこと 発表
		配当時間	3時間
		学習時期	3月
言語材料	表現 【Unit 6】 I want to go to .... I want to eat .... 【Unit 7】 What do you want to be? I want to be .... 語句 これまでに学習した語句		

評価規準（例） 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》 これまでに学習した I want to study / be / go to .... などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 したいことやつきたい職業、行きたい国などについて伝える文を、読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》 韓国とドイツの小学生の絵はがきから、したいことなどを読み取り、自分なりの返事を考えている。 《態度》 韓国とドイツの小学生の絵はがきから、したいことなどを読み取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。
話すこと【発表】	《知識》 これまでに学習した表現や語句を理解している。 《技能》 これまでに学習した表現を用いて、読んだり話したり書いたりする技能を身につけている。 《思・判・表》 English Festival を楽しむために、グループで企画を立て、簡単な語句や基本的な表現を用いて催し物や発表を行っている。 《態度》 English Festival を楽しむために、グループで企画を立て、簡単な語句や基本的な表現を用いて催し物や発表を行おうとしている。

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.92 -p.93	<p><b>世界の小学生の絵はがきから、大まかな内容を読み取る。</b></p> <p><b>○Let's read.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 韓国のシオンさんの絵はがきを読んで、好きな教科と将来つきたい職業を理解する。</li> <li>・ 自分ならシオンさんにどんな返事を書くかを考える。</li> <li>・ 教科書の写真を見て、シオンさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。</li> </ul> <p><b>○Let's read.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドイツのユリアンさんの絵はがきを読んで、行きたい国とその国でしたいことを理解する。</li> <li>・ 自分ならユリアンさんにどんな返事を書くかを考える。</li> <li>・ 教科書の写真を見て、ユリアンさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。</li> </ul> <p><b>◆韓国／ドイツ</b> 教科書にある国の説明を読み、韓国とドイツについて理解を深める。</p>	<p><b>○Let's read.</b></p> <p>[読む]《知識》これまでに学習した I want to study / be / go to ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》したいことやつきたい職業、行きたい国などについて伝える文を、読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。／《思・判・表》韓国とドイツの小学生の絵はがきから、したいことなどを読み取り、自分なりの返事を考えている。／《態度》韓国とドイツの小学生の絵はがきから、したいことなどを読み取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。</p>
2	p.94 -p.95	<p><b>English Festival を開き、いろいろな催し物や発表を楽しむ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ English Festival を開くことを知り、モデル動画を視聴して教科書に例示された催し物や発表について理解する。</li> </ul> <p>(例)</p> <p>Quiz Show : 英語でクイズを作って出題する。</p> <p>Our Messages : お世話になった人に感謝の言葉を伝える。</p> <p>The Top Five : 友達にアンケートを取って、その結果を発表する。</p> <p>Let's Read Books : 英語の本の読み聞かせをする。</p> <p><b>◆Let's think.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループになって、教科書の例のほかどんなことが考えられるか話し合う。</li> <li>・ グループで取り組む催し物や発表を決めて、企画を立てる。</li> <li>・ 催し物や発表に必要なものを用意する。</li> <li>・ ゲストに呼びたい人について話し合う。</li> </ul>	<p>本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p>
3		<p><b>○You can do it!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループでリハーサルを行う。</li> <li>・ グループごとに、催し物や発表を行う。</li> </ul> <p><b>◆感想を伝え合う</b> 各グループの催し物や発表について、よかったところなど感想を伝え合う。</p> <p><b>◆振り返り</b> 世界の友達の絵はがきから、したいことなどを読み取ることができたか、グループで企画を立てて催し物や発表を行い、English Festival を楽しむことができたかを振り返り、自己評価をする。</p>	<p><b>○You can do it!</b></p> <p>[話す 発表]《知識》これまでに学習した表現や語句を理解している。／《技能》これまでに学習した表現を用いて、読んだり話したり書いたりする技能を身につけている。／《思・判・表》English Festival を楽しむために、グループで企画を立て、簡単な語句や基本的な表現を用いて催し物や発表を行っている。／《態度》English Festival を楽しむために、グループで企画を立て、簡単な語句や基本的な表現を用いて催し物や発表を行おうとしている。</p>

<b>英語の物語 Kurikindi</b>	題材	物語、環境
	教科書ページ	p.96-p.97
単元目標 【Goal】	英語の物語を声に出して読み、考えたことを話し合う。	配当時間 1時間
		学習時期 3月
言語材料	<b>表現</b> We can't .... I can .... I don't want to .... I want to .... <b>語句</b> forest, fire, anything, drop, water, try, home	
コミュニケーションに役立つフレーズ	機能表現 (エ) 断る I don't want to go. (オ) 誘う Let's get out!	

評価規準（例） 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》 I can .... や I want to .... など、これまでに学習した表現や語句を理解している。 《技能》 音声を聞いたり絵から意味を推測したりして、読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》 物語の内容を理解し、登場人物になったつもりで、気持ちを込めてせりふを声に出して読んでいる。 《態度》 物語の内容を理解し、登場人物になったつもりで、気持ちを込めてせりふを声に出して読もうとしている。
------	---

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.96 -p.97	<p>クリキンディの物語を気持ちを込めて声に出して読むとともに、自分が森に住む動物だったらどうするかを考えて話し合う。</p> <p>◆物語の概要を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見て、物語の概要を予測する。</li> <li>・音声を聞いて、物語の概要を捉える。</li> </ul> <p>◆人物の気持ちを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のような発問を通して、森の動物たちの気持ちと行動を考える。 森が火事になったとき、動物たちはどうしたか。 ハチドリはクリキンディはどうしたか。 クリキンディがそんな行動をしたのはどうしてか。 クリキンディの行動を見て、他の動物たちはどう思っただろうか。</li> </ul> <p>○音読する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声の後について読んだり、音声といっしょに読んだりして、音読の練習をする。</li> <li>・動物たちの役に分かれて、気持ちを込めてせりふを言う。</li> </ul> <p>◆感想を話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を読んで、「いいな」と思ったり、「気持ちがわかる」と思ったりしたところを話し合う。</li> <li>・自分が森に住む動物ならどうするかを考える。</li> </ul> <p>◆地球の環境問題について話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森という環境に危機が訪れたときの動物の物語から、同じ地球に住む自分たちの問題と相通じる点はないか考える。</li> <li>・地球の環境問題について知っていることを出し合う。</li> <li>・地球の環境を守るために自分たちができることを話し合う。</li> </ul>	<p>○音読する</p> <p>[読む]《知識》I can .... やI want to .... など、これまでに学習した表現や語句を理解している。／《技能》音声を聞いたリ絵から意味を推測したりして、読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。／《思・判・表》物語の内容を理解し、登場人物になったつもりで、気持ちを込めてせりふを声に出して読んでいる。／《態度》物語の内容を理解し、登場人物になったつもりで、気持ちを込めてせりふを声に出して読もうとしている。</p>